

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
第18回介護・医療連携推進会議

24 芝ヶアステーション

令和7年4月24日（木）
場所：芝中田町会会館

1 会議の内容

ごあいさつ	15:00	～	15:05
定期巡回・随時対応型訪問介護看護における看護	15:05	～	15:50
運営状況のご報告	15:50	～	16:00
事例紹介	16:00	～	16:15
質疑応答	16:15	～	16:25
事業所評価について	16:25	～	16:30

2 参加者数等

属性	事業所数	人数
居宅介護支援事業所	4ヶ所	4名
医療機関	2ヶ所	2名
地域包括支援センター	3ヶ所	3名
訪問看護事業所	5ヶ所	5名

3 運営状況のご報告

・概況

利用者数：35名（2月実績）

訪問看護利用率：80.0%

平均介護度：2.83

・サービス提供状況

	利用者数	定期訪問	随時対応	随時訪問
R6年9月	33	2032	87	77
R6年10月	34	1993	121	127
R6年11月	33	1999	194	105
R6年12月	35	2162	77	66
R7年1月	35	2193	94	63
R7年2月	35	2103	55	35

・人員体制（令和7年2月28日現在）

管理者：1名

計画作成責任者：3名

オペレーター：9名

訪問介護員：15名

事例の紹介につきましては、プライバシー保護の観点から、不特定多数への公開は控えさせていただきます。

・所感

今年に入って、介護職の求人（応募）状況が著しく悪化しているように感じています。例年、1月の後半になると応募が増加する傾向になるのですが、今年は人材紹介会社も含めてサッパリです。弊社に何か悪いイメージでも？と思いましたが、同業他社に聞いてみたところ、同じ状況とのことでした。NHKが特集を連日放送しているように、まさに「在宅介護クライシス」の状況です。

私が介護職になったころは、「介護の仕事はワーキングプアになる」という極めて悪いイメージがあった頃でした。それに比べれば、処遇改善加算などの施策によって、収入面ではかなりの改善がなされたと認識しています。では、なぜ求人倍率が改善しないのか・・・

私見になりますが、①他業種の賃上げが介護職の処遇改善を上回っている②近年、求職者が早朝、夜間、深夜を敬遠する傾向になっている（働き方改革の影響か？）のは確かなようです。

このままでは在宅介護自体が崩壊するのではないかと強い危機感を持っています。

4 参加者からの要望・助言等

・1日最低何回など、訪問頻度の基準はありますか？（地域包括支援センター）

→定められているものではありません。アセスメントおよび要介護度に照らして
妥当な訪問頻度となるよう努めています。

・事例の内容を伺って、素晴らしい連携だと感じました。なくてはならないサービスだ
と思います。（訪問看護事業所）

・同居家族がいる場合の生活援助はどのようになりますか？（地域包括支援センター）

→通常の訪問介護と同じように考えます。

5 事業所評価について

評価表配布数は14、回答8件、詳細は別紙参照